



## 2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月12日

上場会社名 オーウイル株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3143 URL https://owill.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊達 一紀  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 吉井 健一 TEL 03 (5772) 4488  
 定時株主総会開催予定日 2023年6月22日 配当支払開始予定日 2023年6月23日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月23日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期の連結業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	31,255	10.4	942	14.1	875	5.8	580	0.9
2022年3月期	28,312	—	826	53.8	827	50.1	575	65.7

(注) 包括利益 2023年3月期 547百万円(△7.0%) 2022年3月期 588百万円(33.4%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	184.29	—	15.0	8.0	3.0
2022年3月期	182.71	—	16.6	8.0	2.9

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 ー百万円 2022年3月期 ー百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	11,445	4,164	35.4	1,286.55
2022年3月期	10,521	3,765	35.0	1,168.75

(参考) 自己資本 2023年3月期 4,052百万円 2022年3月期 3,681百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	184	△31	△166	1,793
2022年3月期	149	△21	△300	1,775

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	0.00	—	47.00	47.00	148	25.7	4.3
2023年3月期	—	0.00	—	47.00	47.00	148	25.5	3.8
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00		23.5	

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	2.4	1,000	6.1	1,000	14.3	670	15.4	212.72

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
  - ② ①以外の会計方針の変更：無
  - ③ 会計上の見積りの変更：無
  - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2023年3月期	3,150,000株	2022年3月期	3,150,000株
2023年3月期	304株	2022年3月期	304株
2023年3月期	3,149,696株	2022年3月期	3,149,696株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	29,883	8.9	869	11.2	799	3.6	521	△2.1
2022年3月期	27,436	—	781	36.7	771	41.3	532	76.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	165.49	—
2022年3月期	168.97	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	11,039	3,853	34.9	1,223.43
2022年3月期	10,254	3,568	34.8	1,132.83

(参考) 自己資本 2023年3月期 3,853百万円 2022年3月期 3,568百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(その他)

決算補足説明資料については、後日当社ホームページ上に掲載しますのでそちらをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 企業集団の状況 .....	5
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
4. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(会計方針の変更) .....	13
(セグメント情報等) .....	14
(1株当たり情報) .....	18
(重要な後発事象) .....	18
5. 個別財務諸表及び主な注記 .....	19
(1) 貸借対照表 .....	19
(2) 損益計算書 .....	21
(3) 株主資本等変動計算書 .....	22

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続いたものの、感染対策や行動制限の緩和など、ウィズコロナに向けた各種政策の効果により、個人消費を中心に経済活動に緩やかな回復の動きが見受けられました。しかしながら、ウクライナ情勢などを契機としたエネルギーコストや原材料価格の高騰に加え、急激な円安の進行も相まって物価上昇の動きが見られ、景気の先行きにつきましては依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主力マーケットである食品飲料業界においては、コロナ禍が長期化する中、人流の回復や経済活動の再開によって消費行動が徐々に活発になってきましたが、原材料等のコスト高に伴う食品飲料の度重なる値上げの影響により、節約志向の高まりや買い控えなど、消費マインドへのマイナス影響が懸念されることから、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況下、当社グループは「お客様に十分ご満足のおゆく商品・サービスの提供」を品質方針として、安心かつ安全な商品を提供することを第一に品質管理体制の強化を図り、お客様のニーズに合わせた安定的な供給の継続及びサービスの向上に努めてまいりました。卸売事業において、収益基盤となる既存事業の深耕を図り、主力カテゴリーである乳及び乳製品や食品副原料の販売が堅調に推移いたしました。また、米国子会社の業務用ヒーターの販売台数が前期に比べて増加したことから、当連結会計年度の売上高は31,255,516千円（前期比10.4%増）となりました。また、売上高の増加に伴って売上総利益が増加したことにより、営業利益は942,359千円（前期比14.1%増）となりました。営業外においては急激な円安の進行の影響もあり為替差損を計上しましたが、経常利益は875,072千円（前期比5.8%増）、税金等調整前当期純利益は875,072千円（前期比2.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は580,452千円（前期比0.9%増）となりました。

また、総資産は11,445,243千円（前期末比8.8%増）、純資産は4,164,806千円（前期末比10.6%増）となり、自己資本比率は35.4%となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

#### <卸売事業>

当連結会計年度の清涼飲料市場は、新型コロナウイルス感染症対策や行動制限の緩和によって人流が増加したことから、出荷数量は前年比で増加となりました。しかしながら、チャネル別では自動販売機とコンビニエンスストアにおける出荷数量の回復が鈍化傾向にあり、コロナ前の2019年との比較では市場全体の出荷数量は未だ下回る状況となっております。また、10月以降はエネルギーコストや原材料費の高騰に伴う商品値上げにより、買い控えて消費が減速するなど、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、取引先の多様なニーズに対応すべく、国内外から安全で安心な原材料・資材を確保し、安定供給体制の維持に努めてまいりました。また、新規商材の発掘・提案にも積極的に取り組み、取引先の拡大や利益率改善を図ってまいりました。主力カテゴリーである業務用殺菌乳や脱脂粉乳などの乳及び乳製品、糖類や香料などの食品副原料の販売が前期に比べて堅調に推移した結果、卸売事業の売上高は31,181,528千円（前期比10.4%増）となりました。

#### <製造販売事業>

当連結会計年度におけるアイスクリーム市場は、新型コロナウイルス感染症の影響で家庭での喫食シーンが定着して需要増加が続いたほか、猛暑により氷菓の出荷が好調で前年を上回って推移いたしました。また、行動制限の緩和により、外食、レジャー施設などでの客数回復も後押しし、業務用アイスクリームの需要が高まり、収益改善の傾向がみられました。一方で、メーカー各社は新たなニーズに対応した商品開発を推し進めておりますが、原材料費や水道光熱費などの製造コストの上昇などにより、収益確保が難しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、安心かつ安全な商品の提供を第一に、商品開発にも注力し、取引先のニーズに合ったPB商品の提供ならびにNB商品の販売強化に努めてまいりました。新規顧客先からの受注に加えて、主要顧客先からも安定的な受注を獲得した結果、製造販売事業の売上高は675,080千円（前期比3.1%増）となりました。

(注) セグメントの売上高には、セグメント間の取引を含んでおります。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は、主に売掛金、商品及び製品、前渡金の増加により9,979,033千円(前期末比10.0%増)となりました。また固定資産は、主にリース資産の増加により1,466,210千円(前期末比1.2%増)となり、この結果、当連結会計年度末における資産は11,445,243千円(前期末比8.8%増)となりました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は、主に買掛金の増加により、5,798,222千円(前期末比9.2%増)となりました。また固定負債は、主にリース債務の増加により1,482,213千円(前期末比2.5%増)となりました。この結果、当連結会計年度末における負債は7,280,436千円(前期末比7.8%増)となりました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、主に利益剰余金の増加により、4,164,806千円(前期末比10.6%増)となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,793,749千円(前期末比1.0%増)となりました。

当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、184,882千円(前期比23.6%増)となりました。主な増加要因は、税金等調整前当期純利益875,072千円、仕入債務の増加440,684千円によるものであります。一方で、主な減少要因は、売上債権の増加278,176千円、棚卸資産の増加232,860千円、前渡金の増加254,468千円、法人税等の支払額272,761千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、31,759千円(前期比49.3%増)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、166,591千円(前期比44.5%減)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	第33期 2019年3月期	第34期 2020年3月期	第35期 2021年3月期	第36期 2022年3月期	第37期 2023年3月期
自己資本比率(%)	23.6	31.2	32.2	35.0	35.4
時価ベースの自己資本比率(%)	31.9	31.2	32.6	33.5	30.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	212.0	—	289.7	1,313.6	1,204.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	88.6	—	89.9	20.1	19.2

※ 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数により算出しております。

2. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

3. 第34期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては、営業

キャッシュ・フローがマイナスのため、記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続くものの、経済活動の正常化を背景に内需を中心に持ち直し傾向にありますが、ウクライナ情勢や米中対立などの地政学リスクへの警戒感から、経済への悪影響も一定程度想定される状況にあります。また、原油等のエネルギーコストや原材料価格の高騰に伴う物価上昇など、景気の先行きは依然として不透明感が強く、本格的な回復にはまだ時間を要するものと考えられます。また、少子高齢化による国内市場の縮小が経済全体に与える影響も大きく、企業は収益構造の転換を迫られており、今後の重要な課題となっております。

当社が主に事業を行う食品飲料業界においては、食品原料流通の国際化が加速していることに加え、新興国の食糧需要増加や気候変動による農産物の需給バランスの変化など、食品原料の調達は激しさを増していくと思われまします。また、SDGsをはじめとする持続可能な社会の実現に向けた社会課題への対応や環境に配慮した様々な取り組みなど、企業が果たす役割や責任も増大しております。

このような状況下、当社グループは、国内及び海外市場の動向や消費者の多様なニーズを迅速に捉え、食の安全性の確保と安定供給の継続を第一に、顧客サービスの充実に努め、引き続き既存事業の深耕に注力してまいります。2024年3月期におきましては、前期に引き続き4つのグループ戦略である既存収益基盤事業、成長ドライバー事業、新規事業、関係会社事業の具現化を図るとともに、積極的な人材投資等を踏まえて年度予算を策定しております。2024年3月期通期の業績見通しにつきましては、売上高32,000,000千円(当年同期比2.4%増)、営業利益1,000,000千円(当年同期比6.1%増)、経常利益1,000,000千円(当年同期比14.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益670,000千円(当年同期比15.4%増)を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主への利益還元を経営の重要課題と位置づけており、業績の伸長に沿った適正な利益配分の継続と安定的な配当水準の維持を基本方針としております。

当期の配当金は、当初公表させていただいており、1株当たり47円を予定しております。なお、次期の配当につきましては、上記の方針を踏まえ、1株につき50円の年間配当金とする予定であります。

## 2. 企業集団の状況

当社グループは、オーウイル株式会社（当社）及び子会社である株式会社サンオーネスト、並びに海外子会社の J. S. O' will, Inc. にて構成されており、その主な事業内容は以下の通りであります。

### ① 卸売事業

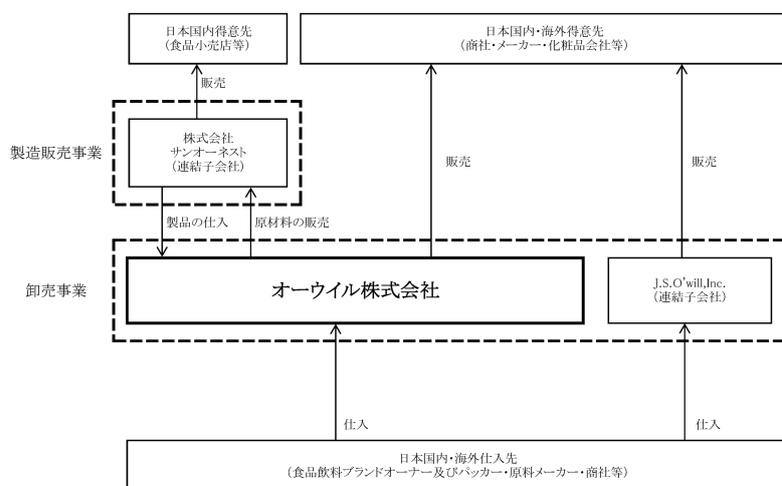
食品、飲料の製造や保存・加工などに使用するビタミン類、食品添加物、殺菌乳、農産物加工品等の原料や窒素、珪藻土等の資材を国内外より調達して取引先に販売するほか、物流倉庫などの大型施設にシーリングファンの販売を行っております。また、米国子会社においては、業務用ヒーターを扱っております。

### ② 製造販売事業

子会社の株式会社サンオーネストにて、アイスクリームの製造・販売を行っております。

#### [事業系統図]

当社グループの事業内容を系統図によって示すと、次のとおりであります。



## 3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 4. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,775,813	1,793,749
受取手形	87,066	80,330
売掛金	4,184,037	4,488,316
商品及び製品	1,506,790	2,163,607
未着商品	1,060,078	594,266
原材料及び貯蔵品	51,912	95,561
前渡金	234,168	490,192
未収入金	122,173	197,209
関係会社短期貸付金	30,000	30,000
その他	66,592	90,357
貸倒引当金	△46,565	△44,558
流動資産合計	9,072,067	9,979,033
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	517,903	520,353
減価償却累計額	△217,008	△230,455
建物及び構築物(純額)	300,894	289,897
機械及び装置	95,342	106,025
減価償却累計額	△63,335	△65,752
機械及び装置(純額)	32,007	40,273
車両運搬具	31,430	32,423
減価償却累計額	△22,689	△25,271
車両運搬具(純額)	8,741	7,152
工具、器具及び備品	139,355	156,026
減価償却累計額	△113,082	△119,591
工具、器具及び備品(純額)	26,273	36,435
土地	9,000	9,000
リース資産	—	102,318
減価償却累計額	—	△14,724
リース資産(純額)	—	87,594
建設仮勘定	—	8,000
有形固定資産合計	376,916	478,352
無形固定資産		
ソフトウェア	2,436	1,679
その他	1,638	1,638
無形固定資産合計	4,075	3,318
投資その他の資産		
投資有価証券	619,942	521,121
関係会社長期貸付金	120,000	90,000
ゴルフ会員権	162,300	162,300
差入保証金	125,496	149,524
繰延税金資産	11,718	32,625
その他	28,967	28,967
投資その他の資産合計	1,068,424	984,539
固定資産合計	1,449,416	1,466,210
資産合計	10,521,483	11,445,243

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,071,470	4,521,216
1年内返済予定の長期借入金	764,608	776,530
リース債務	—	15,233
未払金	171,923	159,156
未払法人税等	163,851	142,669
前受金	7,891	367
賞与引当金	44,004	37,754
その他	86,850	145,296
流動負債合計	5,310,599	5,798,222
固定負債		
長期借入金	1,376,909	1,361,212
リース債務	—	73,453
繰延税金負債	57,394	36,791
資産除去債務	10,658	10,756
その他	732	—
固定負債合計	1,445,695	1,482,213
負債合計	6,756,295	7,280,436
純資産の部		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金	292,475	292,475
利益剰余金	2,712,605	3,145,022
自己株式	△259	△259
株主資本合計	3,368,209	3,800,625
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	249,627	181,066
繰延ヘッジ損益	12,659	△6,619
為替換算調整勘定	50,714	77,180
その他の包括利益累計額合計	313,001	251,626
非支配株主持分	83,977	112,554
純資産合計	3,765,188	4,164,806
負債純資産合計	10,521,483	11,445,243

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	28,312,984	31,255,516
売上原価	25,329,457	28,090,151
売上総利益	2,983,527	3,165,364
販売費及び一般管理費	2,157,262	2,223,004
営業利益	826,264	942,359
営業外収益		
受取利息	821	698
受取配当金	8,602	9,529
受取手数料	6,327	6,327
受取補償金	4,663	3,746
補助金収入	10,456	4,735
その他	5,703	997
営業外収益合計	36,574	26,034
営業外費用		
支払利息	7,948	9,402
為替差損	26,727	81,284
支払補償費	573	388
その他	115	2,246
営業外費用合計	35,365	93,322
経常利益	827,473	875,072
特別利益		
固定資産売却益	3,096	—
リース債務解約益	6,305	—
為替換算調整勘定取崩益	13,226	—
特別利益合計	22,628	—
税金等調整前当期純利益	850,101	875,072
法人税、住民税及び事業税	256,413	276,536
法人税等調整額	6,629	△2,764
法人税等合計	263,043	273,771
当期純利益	587,058	601,301
非支配株主に帰属する当期純利益	11,566	20,849
親会社株主に帰属する当期純利益	575,491	580,452

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	587,058	601,301
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31,459	△68,561
繰延ヘッジ損益	4,933	△19,279
為替換算調整勘定	28,312	34,193
その他の包括利益合計	1,785	△53,647
包括利益	588,844	547,653
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	568,797	519,077
非支配株主に係る包括利益	20,047	28,576

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	363,387	292,475	2,278,850	△259	2,934,453
当期変動額					
剰余金の配当			△141,736		△141,736
親会社株主に帰属する当期純利益			575,491		575,491
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	433,755	—	433,755
当期末残高	363,387	292,475	2,712,605	△259	3,368,209

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	281,087	7,726	30,882	319,696	63,930	3,318,080
当期変動額						
剰余金の配当						△141,736
親会社株主に帰属する当期純利益						575,491
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△31,459	4,933	19,831	△6,694	20,047	13,352
当期変動額合計	△31,459	4,933	19,831	△6,694	20,047	447,108
当期末残高	249,627	12,659	50,714	313,001	83,977	3,765,188

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	363,387	292,475	2,712,605	△259	3,368,209
当期変動額					
剰余金の配当			△148,035		△148,035
親会社株主に帰属する当期純利益			580,452		580,452
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	432,416	—	432,416
当期末残高	363,387	292,475	3,145,022	△259	3,800,625

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	249,627	12,659	50,714	313,001	83,977	3,765,188
当期変動額						
剰余金の配当						△148,035
親会社株主に帰属する当期純利益						580,452
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△68,561	△19,279	26,465	△61,375	28,576	△32,798
当期変動額合計	△68,561	△19,279	26,465	△61,375	28,576	399,618
当期末残高	181,066	△6,619	77,180	251,626	112,554	4,164,806

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	850,101	875,072
減価償却費	43,023	50,624
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	41,957	△2,007
賞与引当金の増減額 (△は減少)	291	△6,249
受取利息及び受取配当金	△9,423	△10,227
支払利息	7,948	9,402
為替差損益 (△は益)	△11,247	△11,044
固定資産売却益	△3,096	—
リース債務解約益	△6,305	—
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩益	△13,226	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△213,669	△278,176
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△357,920	△232,860
未収入金の増減額 (△は増加)	△19,482	△75,035
前渡金の増減額 (△は増加)	△39,832	△254,468
仕入債務の増減額 (△は減少)	246,968	440,684
未払金の増減額 (△は減少)	12,194	△21,305
前受金の増減額 (△は減少)	△183,508	△7,524
その他	△29,135	△20,237
小計	315,637	456,645
利息及び配当金の受取額	8,673	10,648
利息の支払額	△8,101	△9,650
法人税等の支払額	△166,686	△272,761
営業活動によるキャッシュ・フロー	149,523	184,882
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△21,765	△40,562
有形固定資産の売却による収入	3,405	—
無形固定資産の取得による支出	△1,745	—
差入保証金の差入による支出	△1,314	△21,697
貸付金の回収による収入	—	30,000
差入保証金の回収による収入	146	500
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,272	△31,759
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	700,000	850,000
長期借入金の返済による支出	△849,101	△853,775
リース債務の返済による支出	△9,143	△14,516
配当金の支払額	△141,975	△148,300
財務活動によるキャッシュ・フロー	△300,219	△166,591
現金及び現金同等物に係る換算差額	37,468	31,405
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△134,500	17,935
現金及び現金同等物の期首残高	1,910,313	1,775,813
現金及び現金同等物の期末残高	1,775,813	1,793,749

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(1) 時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用しております。

これによる連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは事業内容及び市場の類似性を考慮し、下記の2つを報告セグメントとしております。

区分	主要商品又は事業内容
卸売事業	飲料・食品の製造用原料及び製品（ビタミン類、食品添加物、殺菌乳、農産物加工品、飲料製品等）、排水浄化プラント、大型シーリングファン、業務用ヒーター等の国内販売及び輸出入取引
製造販売事業	アイスクリーム等の製造・販売

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメント間の取引は、一般的な商取引と同様の条件で行っております。

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則及び手続に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務 諸表計上 額 (注) 2
	卸売事業	製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	28,019,488	293,495	28,312,984	—	28,312,984
セグメント間の内部売上 高又は振替高	218,347	361,427	579,775	△579,775	—
計	28,237,836	654,922	28,892,759	△579,775	28,312,984
セグメント利益又は損失 (△)	845,291	△10,822	834,469	△8,205	826,264
セグメント資産	10,486,125	744,504	11,230,630	△709,146	10,521,483
その他の項目					
減価償却費	15,294	27,729	43,023	—	43,023
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	17,059	6,672	23,732	—	23,732

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務 諸表計上 額 (注) 2
	卸売事業	製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	30,878,184	377,331	31,255,516	—	31,255,516
セグメント間の内部売上 高又は振替高	303,343	297,749	601,092	△601,092	—
計	31,181,528	675,080	31,856,608	△601,092	31,255,516
セグメント利益又は損失 (△)	986,351	△42,351	944,000	△1,640	942,359
セグメント資産	11,356,358	756,687	12,113,045	△667,802	11,445,243
その他の項目					
減価償却費	20,807	29,816	50,624	—	50,624
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	37,541	113,035	150,576	—	150,576

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益 (単位：千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	△8,205	△1,640
合 計	△8,205	△1,640

セグメント資産 (単位：千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	△709,146	△667,802
合 計	△709,146	△667,802

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の開示をしているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社伊藤園	6,005,437	卸売事業

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の開示をしているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社伊藤園	6,163,174	卸売事業

**【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】**

該当事項はありません。

**【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】**

該当事項はありません。

**【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】**

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	1,168.75円	1,286.55円
1株当たり当期純利益金額	182.71円	184.29円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	575,491	580,452
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	575,491	580,452
期中平均株式数(株)	3,149,696	3,149,696

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 5. 個別財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,228,923	1,300,838
受取手形	87,066	80,330
売掛金	4,117,893	4,450,748
商品及び製品	1,483,655	2,091,631
未着商品	1,087,402	609,045
原材料	30,028	59,933
前渡金	219,624	483,013
前払費用	29,069	30,255
関係会社短期貸付金	30,000	230,000
未収入金	155,117	213,108
為替予約	18,246	—
その他	9,286	45,811
貸倒引当金	△46,565	△44,558
流動資産合計	8,449,748	9,550,159
固定資産		
有形固定資産		
建物	133,480	133,480
減価償却累計額	△92,576	△95,229
建物(純額)	40,904	38,250
機械及び装置	16,680	13,805
減価償却累計額	△13,115	△6,965
機械及び装置(純額)	3,564	6,839
車両運搬具	12,032	12,032
減価償却累計額	△12,032	△12,032
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	69,744	80,025
減価償却累計額	△47,557	△51,800
工具、器具及び備品(純額)	22,186	28,224
土地	9,000	9,000
有形固定資産合計	75,655	82,315
無形固定資産		
ソフトウェア	841	586
その他	1,158	1,158
無形固定資産合計	2,000	1,745
投資その他の資産		
投資有価証券	599,942	501,121
関係会社株式	154,424	151,077
関係会社長期貸付金	670,000	440,000
ゴルフ会員権	162,300	162,300
差入保証金	111,311	134,991
繰延税金資産	—	17,836
その他	28,967	28,967
貸倒引当金	—	△30,916
投資その他の資産合計	1,726,945	1,405,377
固定資産合計	1,804,601	1,489,438
資産合計	10,254,349	11,039,597

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,099,233	4,603,137
1年内返済予定の長期借入金	751,168	770,130
未払金	158,068	141,710
未払費用	9,318	9,202
未払法人税等	163,555	142,372
前受金	7,891	367
預り金	14,987	7,835
為替予約	—	9,541
賞与引当金	44,004	37,754
その他	41,509	101,931
流動負債合計	5,289,736	5,823,983
固定負債		
長期借入金	1,370,509	1,361,212
繰延税金負債	25,088	—
資産除去債務	947	960
固定負債合計	1,396,545	1,362,172
負債合計	6,686,281	7,186,155
純資産の部		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金		
資本準備金	288,387	288,387
資本剰余金合計	288,387	288,387
利益剰余金		
利益準備金	2,465	2,465
その他利益剰余金		
別途積立金	50,000	50,000
繰越利益剰余金	2,601,799	2,975,014
利益剰余金合計	2,654,264	3,027,479
自己株式	△259	△259
株主資本合計	3,305,780	3,678,995
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	249,627	181,066
繰延ヘッジ損益	12,659	△6,619
評価・換算差額等合計	262,287	174,446
純資産合計	3,568,067	3,853,441
負債純資産合計	10,254,349	11,039,597

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	27,436,591	29,883,233
売上原価		
商品期首棚卸高	1,229,785	1,483,655
当期商品仕入高	25,002,518	27,722,193
合計	26,232,303	29,205,848
商品期末棚卸高	1,483,655	2,091,631
商品売上原価	24,748,648	27,114,217
売上総利益	2,687,942	2,769,016
販売費及び一般管理費	1,906,277	1,899,583
営業利益	781,665	869,432
営業外収益		
受取利息	2,047	685
受取配当金	8,602	9,529
受取手数料	6,327	6,327
受取補償金	4,654	3,732
その他	1,577	676
営業外収益合計	23,209	20,950
営業外費用		
支払利息	6,804	8,773
為替差損	25,810	81,284
支払補償費	573	388
その他	2	139
営業外費用合計	33,191	90,586
経常利益	771,683	799,796
特別利益		
固定資産売却益	3,096	—
関係会社清算益	2,947	—
特別利益合計	6,044	—
特別損失		
関係会社株式評価損	—	3,347
関係会社貸倒引当金繰入額	—	30,916
特別損失合計	—	34,263
税引前当期純利益	777,727	765,532
法人税、住民税及び事業税	238,208	248,439
法人税等調整額	7,316	△4,157
法人税等合計	245,525	244,282
当期純利益	532,202	521,250

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								自己株式	株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計			
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金					
					別途積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	363,387	288,387	288,387	2,465	50,000	2,211,333	2,263,798	△259	2,915,313	
当期変動額										
剰余金の配当						△141,736	△141,736		△141,736	
当期純利益						532,202	532,202		532,202	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									-	
当期変動額合計	-	-	-	-	-	390,466	390,466	-	390,466	
当期末残高	363,387	288,387	288,387	2,465	50,000	2,601,799	2,654,264	△259	3,305,780	

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
当期首残高	281,087	7,726	288,813	3,204,127
当期変動額				
剰余金の配当				△141,736
当期純利益				532,202
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△31,459	4,933	△26,526	△26,526
当期変動額合計	△31,459	4,933	△26,526	363,940
当期末残高	249,627	12,659	262,287	3,568,067

当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								自己株式	株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計			
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金					
					別途積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	363,387	288,387	288,387	2,465	50,000	2,601,799	2,654,264	△259	3,305,780	
当期変動額										
剰余金の配当						△148,035	△148,035		△148,035	
当期純利益						521,250	521,250		521,250	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)										
当期変動額合計	—	—	—	—	—	373,214	373,214	—	373,214	
当期末残高	363,387	288,387	288,387	2,465	50,000	2,975,014	3,027,479	△259	3,678,995	

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
当期首残高	249,627	12,659	262,287	3,568,067
当期変動額				
剰余金の配当				△148,035
当期純利益				521,250
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△68,561	△19,279	△87,840	△87,840
当期変動額合計	△68,561	△19,279	△87,840	285,373
当期末残高	181,066	△6,619	174,446	3,853,441